

別総政 第184号
令和3年6月14日

各 位

別海町長 曾根 興三

日米共同訓練（国内における米陸軍との実動訓練）の実施について（通知）
このことについて、矢白別演習場において実施される標記訓練の日程等が決定しました
ので、別紙によりお知らせいたします。

【問合せ先】

別海町役場 総務部 総合政策課 まちづくり推進担当

TEL 75-2111（内線2211）

FAX 75-0371

日米共同訓練（国内における米陸軍との実動訓練）の概要についてのお知らせ

陸上自衛隊が、以下のとおり国内における米陸軍との実動訓練（オリエント・シールド21）を実施しますので、お知らせします。

1 目的

陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図る。

2 期間 令和3年6月18日（金）～7月11日（日）

3 場所 伊丹駐屯地、奄美駐屯地、明野駐屯地、経ヶ岬分屯基地、米軍経ヶ岬通信所、あいは野演習場、矢白別演習場 等

4 担任官

（1）日本側：中部方面総監 陸将 野澤 眞

（2）米軍側：在日米陸軍司令官 少将 ヴィエット X. ルオン

5 訓練実施部隊

（1）陸上自衛隊

中部方面隊、第1特科団、中央特殊武器防護隊 等

（2）米陸軍

在日米陸軍司令部、第40歩兵師団司令部、第17砲兵旅団、第28歩兵連隊第1大隊、第38防空砲兵旅団第1防空砲兵連隊第1大隊 等

これらの訓練内容のうち、矢白別演習場で予定されている内容は次のとおりです。

①内容 陸自「多連装ロケットシステム（MLRS）」、
米軍「高機動ロケット砲システム（HIMARS）」による射撃訓練

②期間 令和3年6月28日（日）から7月4日（日）
うち射撃期間は、6月28日（日）から7月2日（金）までの5日間
ただし、天候状況により実施日を変更する場合があります。

③人員 陸自 約200名
米軍 約40名

問合せ先 ●陸上幕僚監部広報室 電話 03-3268-3111（内線 40082）

●別海町役場総務部総合政策課まちづくり推進担当

電話 0153-75-2111（内線 2211）

別総政 第185号

令和3年6月14日

各 位

別海町長 曾根 興三

令和3年度北海道訓練センター第2回実動対抗演習の概要について
このことについて、別紙のとおり矢白別演習場で実施されますので、お知らせいたします。

別海町役場総合政策課まちづくり推進担当（大森）

TEL 75-2111 内線 2211

FAX 75-0371

令和3年度北海道訓練センター第2回実動対抗演習の概要について

1 目的

戦車部隊及び野戦特科部隊を含む諸職種協同の普通科連隊等に対し、実動対抗演習の場を設定し、指揮幕僚活動の定性的な評価及び戦闘の客観的・計数的な評価により、諸職種協同等に必要な練度の向上を図る。

2 実施要領

実動対抗演習【第2師団、第3師団】

※訓練評価支援隊が訓練を統制し、両師団が実動対抗演習を行います。

ア. 期間 令和3年6月14日(月)～7月27日(火)

※この期間には、部隊の広域移動や他の演習場での準備訓練等の日程も含まれています。

イ. 場所 矢白別演習場

ウ. 担任官 教育訓練研究本部長 たなか 田中 しげのぶ 重伸

エ. 装備 74式戦車、90式戦車、装輪装甲車、軽装甲機動車、
155mm榴弾砲、99式自走155mm榴弾砲 等
ヘリコプター (AH-1S、UH-1J)

3 特色

北海道の良好な訓練基盤の活用

実相に近い作戦環境下での諸職種協同による連隊規模での実動対抗演習

4 問合せ先 陸上幕僚監部広報室 (TEL03-3268-3111 内線40083)